

第七十四回帝國議會
衆議院

森林法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
森林法中改正法律案(政府提出)
林業種苗法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月十三日(月曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事長野 綱良君 理事北 勝太郎君

理事小山田義孝君

松浦周太郎君 伊藤 五郎君

深澤 吉平君 北原阿智之助君

卯尾田毅太郎君 篠原 義政君

松尾 孝之君 猪野毛利榮君

福井 甚三君 中田 儀直君

伊東 岩男君 小田 榮君

川俣 清音君 菊地養之輔君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

北海道廳長官 半井 清君

農林省山林局長 村上富士太郎君

樺太廳長官 棟居 俊一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

森林法中改正法律案(政府提出)

林業種苗法案(政府提出)

○小山委員長 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キ

マス、質問ノ順位ハ通告順ニ依リ其ノ發言ヲ許可致シタイト思ヒマス——松浦周太郎君

○松浦委員 本改正案ガ施行サレマスト云

フコトハ森林ノ前途ニ對シマシテ最モ必要ナコトト私ハ存ジマスガ、之ヲ直チニ今強行スル場合ニ於テ、一方ニハ木材資材ノ供給

ノ上ニ色々ナ問題ガ起キハセヌカト云フコトヲ憂慮致シマシテ、其ノ點ニ付テ二三質問シテ見タイト思ヒマス、現時ノ纖維工業ノ

發達ハ言フマデモナク非常ニ發達ヲ致シテ居リマシテ、木材ヲ原料トスル各種工業ノ

發達是亦非常ナモノデアリマス、又重工業ノ發達ニ伴ヒマシテ、鑛工業ヲ進メル上

ニ於キマシテ枕木、其ノ他ノ資材モ非常ナ數量ニ上リツアル今日デアリマス、隨テ

木材ノ市價ト云フモノハ非常ニ暴騰致シマシテ、其ノ暴騰致シマスコトガ反面ニハ、先日モ本會議ニ於テ大臣カラ申サマシレタ

ヤウニ濫伐、過伐ガ盛ニ行ハレルト云フコトニモナルカト思ヒマス、此ノ濫伐、過伐、早伐ヲ一方ニ於テ防グト云フ反面ニハ、此ノ需給ノ關係ヲ考ヘルコトガ最モ必要ナル

一ツノ條件カ、トモ存ジマス、之ニ付キマシテ先ヅ「パルプ」資材ニ付テ少シ御伺シタイト思ヒマス、私ノ手許ニアリマスモノハ昭和十二年末ノモノデゴザイマスガ、人纖「パルプ」ノ需要量ハ、昭和十二年末ニ於キマシテハ三十四万七千八百九十二噸ト云フ統計ニナツテ居リマシテ、其ノ中國内ノ生産量ハ當時非常ニ不足デアリマシテ、僅ニ五万七千噸餘ノモノデアリマス、ソレニ對シテ製紙「パルプ」ノ方ヲ見マスト百万噸ヲ突破致シマシテ、是ハ大部分國內ニ於テ生産サレテ居リマシテ、輸入シテ居リマスモノハ僅ニ十七萬噸ソコノモノデゴザイマス、更ニ「パルプ」ノ原料トシテ入ツテ來テ居ルモノガ四十六萬餘噸デアリマス、其ノ外杭木ノ供給ニ付キマシテモ、石炭ノ増産ニ伴ツテ、一應ニ對シテ九升ナンボト言ヒマシマスガ、假ニ一斗ト見ルト、現在五千萬噸ナラバ五百万石、將來七千万噸造ルナラバ七百万石要ル、亞細亞ノ政策ヲ進メテ行ク上ニ於テ最モ必要ナル石炭ハ一億ノ標準ニ到達スルト云フコトハ言フマデモナイ、世上サウシテ居リマスガ、一億生産スルト云フコトニナルナラバ「パルプ」ノ資材ト同等ノ杭木ヲ必要トスル、政府ハ此ノ森林法ノ改

正案ヲ施行シ、民林ノ合理經營ヲ爲サシメルト云フ場合ニ於キマシテ「パルプ」ノ需給策ニ付テドウ云フ計畫ヲ立テテ居ルカ、十二年度末ニ於テハ製紙及ビ人纖兩方ノ「パルプ」ヲ合計致シマシテ約二十萬噸以上ノモノヲ輸入致シテ居リマス、是ガ今年約二割多ク使ツテ居ルト見マシテ二十五萬噸ヲ入レナケレバナラス、將來此ノ「パルプ」ノ需給策、或ハ各種資材ノ需給策ニ付テドウ云フ案ヲ立テテ居ラレルカ、ドウ云フ計畫ヲ持ツテ居ラレルカ、所謂物動計畫ト申シマスカ、ソレニ付キマシテノ政府ノ所信ヲ御伺シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 松浦君ノ御質問ノ點ハ洵ニ御尤ナコトダト思ヒマス、數字ニ關スルコトデアリマスカラ政府委員カラ御答致サセマス

○村上政府委員 昨年ノ二月カニ閣議決定シマシタ案ニ依リマスルト、「パルプ」資材トシテ内地ニ於テ特ニ増産シマスモノガ百九十六萬石ニナリマス、其ノ中國有林カラ八十五萬石ヲ出シ、殘リヲ民林カラ出ス、斯ウ云フ計畫ニツテ居リマス、其ノ他ニ、是ハ北海道長官カラ御説明ニナルト思ヒマ

スガ、北海道ニ於テヤハリ相當増伐スル、
斯ウ云フ計畫デアリマス、之ニ依ツテ大體
昭和十七年ニ於キマシテ滿洲國カラノ輸入
ト相俟ツテ「バルプ」ノ需給計畫ガ立ツコト
ニナリマス

○松浦委員 滿洲國ノ方ハ幾ラ供給スルコ
トニナツテ居リマスカ

○村上政府委員 其ノ時ノ計畫ハ一應三十
万瓩トナツテ居リマス、併シソレハ今又變
リマシテ、變ツタ計畫ニ付キマシテハ、是
ハ適當ノ機會ニ企畫院ノ方カラ御説明申上
ゲマス

○松浦委員 農林省トセラレマシテハ、此
ノ案ハ輸入ヲ俟タナイデ全然國內ノ自給自
足ニ俟ツモノデアルカドウカト云フコトヲ
御伺シタイ

○村上政府委員 「バルプ」ニ付テハ、昭和
十七年ニナリマシタラ輸入ニ俟タナイデ宜
シイ計畫ニナツテ居リマス

○松浦委員 是ハ企畫院ノ方ニ關係スルカ
モ知レマセヌガ、北海道、樺太、内地各國
有林及ビ民有林ノ關係ニナツテ、「バルプ」、
及ビ其ノ他ノモノニモ關係致シマスガ、殊
ニ「バルプ」トシテノ問題デアリマス、「バル
プ」ノ綜合統一ト云ヒマスカ、從來ノ「バル
プ」工業ト云フモノハ、製紙「バルプ」ガ最

初ニ始マリマシテ何處ノ木ヲ使ヘバ一番「コ
スト」ガ安く上ルカト云フコトニ著目致シマ
シテ、亞寒帶ノ林業地方デアル所ノ樺太、
北海道ニ先ヅ製紙「バルプ」ガ勃興致シマシ
タ、最近ニ於ケル人絹ノ問題ガ、色々國策
的ニ喧シクナツテ參リマシテ、最初ニ陣取
ツタ「バルプ」ヲ拵ヘル爲ニ、最も適地デア
ル方面ノ優良資材ハ殆ド製紙「バルプ」ニ占
領セラレテシマツテ居ル所謂林業ノ遺利ノ
整理ト申シマスカ、製紙「バルプ」ガ一應陣
取ツタ後ニ持ツテ行ツテ、其ノ計畫ヲ爲ス
ト云フコトニナリマシテ、隨テ此ノ「バル
プ」ト云フモノカラ見レバ、適材適所ト云フ
言葉カラハ大分遠ザカツテ居ルヤウニ思フ
ノデアリマス、隨テ技術的ニ入りマスガ言
葉ノ上ニ於キマシテモ、人絹「バルプ」所謂
人絹「バルプ」ト製紙「バルプ」トノ關係ハ非
常ナ相違ガアル、殊ニ亞寒帶林業ニ於ケル
蝦夷、樺等ノ「セルローズ」ヲ多量ニ含ンデ
居ル原料ハ、人絹「バルプ」ニ最適ナモノデ
アリマス、製紙「バルプ」ト致シマスルト、
内地方面ノモノデアルトカ、或ハ潤葉樹デ
アルトカ、或ハ森林ノ遺利ノ整理デアルト
カ云フモノデアリマシテモ、左程言葉ノ
上ニハ影響シナイと思フ、ソコデ國家ノ資
源ヲ經濟的ニ集約的ニ利用スル上ニ於テ、

我國ノ「バルプ」工業全體ヲ綜合統一シテ、
所謂適材適所ト云フ風ニ振向ケル、從來製紙
「バルプ」ガ占領シテ居ル原料地域ノ中ニハ
大部分人絹「バルプ」ニ適當ナル原料ヲ持ツ
テ居ル、斯ウ云フ場合ニ於テ、政府ハ茲ニ大
キナ力ヲ以テ森林ノ遺利ノ整理デアルトカ、
或ハ内地方面ニ於ケル針葉樹、或ハ潤葉樹
等ヲ以テ紙ヲ拵ヘサセル、サウシテ亞寒帶
林業ニ於ケル最も優良ナル原料ヲ以テ人絹
「バルプ」ヲ拵ヘサセルト云フコトガ、所謂國
家ノ資源ノ集約利用ノ上ニ於テ最も必要デ
アルガ、農林大臣ハ此ノ「バルプ」ノ綜合統
一、適材適所ト云フ大キナ問題ニ付テ如何
ナル御考ヲ持ツテ居ラレルカ、又樺太廳及
ビ北海道廳ノ各長官ノ御意見ヲ共ニ御伺シ
タイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 松浦君ノ御意見ハ洵ニ御
尤デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、
御承知ノ通り製紙資材トシテ或ルモノハ既
ニ既得ノ權利ヲ持ツテ居ルモノガアルノデ
アリマス、其ノ既得ノ權利ヲ持ツテ居ル人
ト、マダ何等手ノ届イテ居ナイ點ト兩方綜合
致シマシテ考ヘナケレバナリマセヌガ、「バ
ルプ」資材トシテ未ダ所有權ノ決定シテ居
ナイ、即チ資料トシテ決定シテ居ナイ部分
ニ付キマシテハ、今御話ノヤウナコトヲ目
下研究致シテ居ルノデアリマシテ、何等カ
適當ナ方策ヲ立テタイト思ツテ居リマス
○松浦委員 大臣ノ御説明御尤デアリマス
ガ、ソレハ成程既得ノ權利デアリマス、併
シナガラ現在既得ノ權利ヲ持ツテ居ル經營
者ニ、折角ノ優良ナル原料ヲムザ／＼新聞
紙ノヤウナモノニシテシマハナイデ、之ヲ
集約利用シテ、ヨリ以上ノ價值アルモノニ
拵ヘ上ゲルト云フコトガ、此ノ資源ノ缺乏
セル今日ニ於テ最も必要デアリマスマイ
カ、ソレニ對スル御意見ヲ御伺ヒシマス
○櫻内國務大臣 其ノ點ニ付キマシテハ、
要スルニ從來ノ既得權益者ト諒解ヲ得テヤ
ラナケレバナラスコトデアリマスノデ、「バ
ルプ」資材ノ集約的利用策ガ立チマス場合
ニ於テハ、所謂交渉ノ結果其ノ運びニ移ル
順序ニナルノデアリマスガ、今日マダ成案
ヲ得テ居ナイノデアリマスカラ、只今之ニ
對シテドウ云フヤウニスルカト云フコトハ
御答出來カネマス
○松浦委員 最近「バルプ」熱ガ勃興致シマ
シテ、企業家ガ「バルプ」ノ方面ニ色々研
究ヲシ、又其ノ事業ヲ起サント努力致シマ
シタ結果、藁「バガス」、鬼萱、斯ウ云フモ
ノヲ以テマデ人絹「バルプ」ヲ造ラウト云フ
計畫サヘアルヤウニ聞イテ居リマス、更ニ

又理想案ト致シマシテハ、鋸屑トカ或ハ木屑ノヤウナモノマデ人絹「パルプ」ニシヨウト云フヤウナ計畫サヘアルカニ承ツテ居ル

ノデアリマスガ、斯ウ云フコトハ最モ集約利用ノ上ニ於テ必要ナコトデアリマセウガ、斯ウ云フ下級品ト云ヒマスカ、屑ト云ヒマスカ、サウ云フモノデ高級ナモノヲ造ルト云フコトハ、生産「コスト」ノ上ニ於テ最モ損ナコトデアリマス、之ヲ新聞紙ノヤウナモノニシテ行クナラバ、是ハ却テ言葉ノ上ニモサウ違ヒアリマセシ、色々ナ關係ニ於キマシテ集約利用ノ上ニ於テハ最モ必要ナコトデアルト思フデアリマシマスガ、此ノ點北海道長官ニ御伺シタイト思ヒマスガ、鋸屑、木屑ノヤウナモノデ人絹「パルプ」ヲ拵ヘサセル御考ヲ持ツテ居ルカドウカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマシマス

マスカト云フ點ニ付キマシテハ、マダ結論ヲ得テ居リマセス、大體其ノ經過ダケヲ申上ゲテ置キマス

○松浦委員 今ノ無水「アルコール」ノ問題ニ付キマシテハ、實ハ大藏省ハ手ヲ擧ゲテ居ルト云フ形デアリマス、馬鈴薯ヲ以テヤルト云フコトデ色々ヤリマシタガ、非常ニ買代金ガ安イ、詰リ原料ノ買代金ガ安イト云フコトハ原料ガ詰ラナイト云フコトデ、大分現在問題ニナツテ居リマス、此ノ際私ハ無水「アルコール」ノ話ガ出マシタカラ申上ガマスガ、農林省ニ於キマシテハ、國策ノ重要ナル問題——「ガソリン」ノ一滴ハ血液ノ一滴デアルト云フコトハ常ニ皆サシガ申サレル所デアリマスガ、此ノ重要ナル「ガソリン」ニ對シテ混用スル「アルコール」ノ問題ニ付テ、農林省ニ於テハ木材纖維カラ「シヨラー」法ニ依ツテ「アルコール」ヲ採ル、サウシテ將來農産物バカリデナク、林産物カラモ此ノ「アルコール」ヲ採ルト云フ計畫、ソレニ對スル資材ノ計畫、此ノ企業ニ對スル助成法等ノ用意アリヤ否ヤヲ御伺シテ置キタイノデアリマス

ガ合ヒマセスノデ、未ダ其ノ方面ニ向ツテ計畫ヲ立ツル順序ニナツテ居リマセス、折角研究シツツアル所デアリマス

○松浦委員 只今ノ「アルコール」ノ問題ハ研究シツツアルト云フ御話デゴザイマスガ、澱粉ヲ「アルコール」ニスルト云フ工程モ、纖維ヲ「アルコール」ニスルト云フ工程モ、糖化法ニ依ツテ行ハレルコトデゴザイマスカラ、將來「アルコール」ト云フモノハ鋸屑デアルトカ木屑デアルトカ、或ハ從來利用ノ出來ナイヤウナ物ヲ以テ國家ノ有用ナル資源ヲ補給スルコトニ付テ、農林省ノ御話ノヤウニ徹底的ニ研究シ、之ヲ企業化スルコトニサレンコトヲ希望スルノデアリマシマス

林行政下ニ於テ疑フ者デアリマス、何故ナラバ先程モ申シマシタヤウニ、今日ノ如ク早伐遠伐ガ行ハレル、或ハ濫伐ガ行ハレル民有林ノ植栽林ガ減ツテ來タ、四十万町歩ノ穴ガアイテ來タト云フヤウナコトハ、何處カラ來ルカト云ヘバ、先程モ申シマシタヤウニ、先ヅ現在ノ木材市價ノ暴騰ガ其ノ誘因ノ一ツデアアル、或ハ農山村ノ經濟ガ跛行的デアツテ、一般ノ經濟トハ非常ニ懸離レテ居ルト云フコトニ原因スル

ノデアリマス、隨テ之ヲ防イデ行クト云フコトニナレバ、先ヅ補フコトヲ考ヘナケレバナラス、先程昭和十七年度マデニ此ノ徹底ヲ期スト云フ確言カラ考ヘルナラバ、一方ニ於テ早伐過伐、幼齡樹ヲ伐ルコトヲ取締ルナラバ、他方ニ於テソレヲ補フコトガ最モ必要ナル條件ノ一ツデアリマス、之ニ對シマシテ農林大臣ノ御答辯ハ過熟老齡林分或ハ間伐材ノ利用ヲ以テ之ヲ補フカノヤウニ考ヘルノデアリマスガ、是ガ從來ノ濫伐、過伐ニ依ツテ生産サレテ居ツタ面積或ハ數量ト、將來伐ラウトスル過熟老齡林分或ハ間伐材ト云フモノノ供給關係ノ「バランス」ハドウデアアルカ、ソレニ對スル農林大臣ノ確信アル答辯ト山林局長ノ之ニ對スル統計的ノ數字ヲ、今直チニ答辯

ガ出来ナケレバ書類ヲ以テモ差支ゴザイマセスカラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今ノ問題ニ對スル農林省ノ計畫ニ付キマシテハ書類ヲ以テ申上ゲマス

○松浦委員 過熟老齡林分ヲ整理シテ、早伐、過伐ヲサセナイヤウニスル、ソレニ依ツテ木材ノ需給關係ヲ補フコトデアッタナラバ、茲ニ最モ必要ナルコトハ林道ノ問題デアリマス、今ノ過熟老齡林分特ニ私有林ノ問題デアリマスガ、私有林ハドウ云フ所ニアルト云フナラバ、大體ニ於テ流送ノ出来ナイ所、或ハ林道ガナクテ手ノ著ケラレナイ所、出シテ來テモ現在ノ狀況デハ經濟的ニ引合ハナイ所、一口ニ言フナラバ背椎山脈ニ近イ所ニ過熟老齡林ガアルモノト見ナケレバナラス、併シオ金持ノ持ツテ居ル山デ世襲財産等ニナツテ手ヲ著ケテハイカスト云フヤウナ禁伐的ニ行ハレテ居ルモノハ此ノ限リデアリマセヌガ、ソナ所バカリヲ以テ現在ノ此ノ「バラン」ヲ取ルコトハ出来ナイト思フ、之ニ對シテ農林大臣ハ長野君ノ御質問ニ對シ、林道ノ問題ニ付テハ明年度カラ相當ノ額ヲ是非期待致シタイト考ヘテ居ルト御答ニナツテ居リマス、而シテ今年度ノ狀況ハドウデアるかト

云フト、農林大臣ノ御答ハ百万圓ト仰セニナリマシタガ、ソレハ産業獎勵林等ニ九十八万一千餘圓ヲ御出シニナツテ居ルノデアリマシテ、其ノ外四十萬圓、二十九萬七千圓、合計百六十七萬九千圓ト云フ假ニ林道ノ經費ガ見テアル、是ハ幹線、支線、或ハ間伐材ノ間伐路ニ該當スルモノデアリマセウ、併シ是位ノモノヲ計上シテ果シテ一方ニ於テ森林法ノ第九條、第十條ニアリマス所ノ——ソレヲ讀ンデ見マスナラバ「施業案ヲ編成シ、地方長官ノ認可ヲ受ケヘシ認可ヲ受ケタル施業案ヲ變更セントスルトキハ亦同シ」地方長官必要アリト認ムルトキハ前項ノ施業案ノ變更ヲ命スルコトヲ得」ト云フ強イ條文ガアリマス、假ニ施業案ヲ作ラナイニシテモ、將來施業案ヲ作ラナケレバナラナイト云フ見透シヲ付ケタモノハソレヲ押ヘテシマフ、サウ云フコトニナルナラバ非常ナ木材自給ノ上ニ影響ラスルト思フノデアリマスガ、結論ハ林道ヲドウスルカト云フコトガ重要ナル問題デアリマス、此ノ林道ノ如何ニ依ツテ農林大臣ノ言ハレル過熟老齡林分ヲ利用スルト云フコトモ可ト考ヘラレマスカ、百万圓ヤ百五十萬圓ノ林道デ假ニ百町歩當リ一軒ノ計算デソレヲ見マスト、百七十萬圓假ニ見積リマシテモ

僅ニ十萬町歩ノ利用ノ所ニシカ道ヲ付ケルコトハ出来ナイ、十萬町歩位ノモノヲ明年度ヤリマシテモ、一遍ソレヲ押ヘテシマツタナラバ、ドウシテ今日一億万石近ク要ル所ノ材料ヲ供給スルコトガ出来ルカト云フコトガ私ハ問題ニナツテ來ルト思ヒマス、聞ク所ニ依リマスト、農林省ニハ十年計畫ヲ以テ林道網ヲ完成シヨウトスル計畫ガアルト云フ、若シソレガアルナラバ、此ノ際ソレヲ御發表ニナツテ、直チニ十年度ノ第一年ヲ此ノ森林法ノ改正案ヲ施行スル今年カラソレヲ抑ヘテ著々ト相當ノ經費ヲ以テ林道網ヲ完成スルト云フコトガ並行シテ行カナケレバ、之ヲ完成スルコトガ出来ナイト思フ、議會デ森林法ノ改正案ヲ通スコトハ何デモナイ、林道ヲ作ルコトハ困ルト云フナラバ、ソレハ實ハ片手落ノ行キ方デス、本當ニ之ヲヤラウトスルナラバ、先ツ林道網ヲ完成シテ置イテ、サウシテ需給關係ニ影響シナイヤウニナツテ、ソレカラ民有林ノ合理統制ヲ行フト云フコトガ必要デハアリマスマイカ、茲ニ私ハ非常ナ缺陷ガアルト思フガ、之ニ對スル農林大臣ノ御信念ヲ御伺シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 森林計畫ヲ確立スル上カラ申シマスト、ドウシテモ林道ノ問題ガ一

番重要ナ問題ニ相成ルノデアリマス、林道ト林間鐵道、即チ不便ナル山嶽ニアル所ノ資材ヲ搬出スル途ヲ講ジナケレバ、眞ノ目的ヲ達シナイコトハ松浦君ト同感デアリマス、唯今年度ニ於ケル經費ガ十分デナイト云フ點ニ付キマシテハ、私自身モ之ヲ以テ十分ハ思ツテ居リマセヌ、隨ヒマシテ次年度カラハ此ノ問題ニ對シマシテハ相當カラ盡シタイト云フコトヲ申上ゲテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、農林省ノ將來ノ林道計畫竝ニ此ノ施業案ノ實施ニ伴ツテ敷設セラルベキ所ノ林道施設、斯ウ云フ事柄ヲ全部睨ミ合セマシテ、明年度カラハ適當ナル費用ヲ要求シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松浦委員 其ノ適當ナル數字デアリマス、農林省ニ於テハ林道網ノ計畫ガ完成シテ居ルト云フコトデアリマスガ、斯ウ云フ際ニソレヲ御發表ニナリマシテ、此ノ森林法ガ施行セラレルニ付テハ、全國ノ森林業者或ハ木材ノ利用關係ニアル人々ノ杞憂ヲ去ルコトガ必要カト存ジマス、仍テ此ノ際其ノ計畫ガアルナラバ、斯ウ云フ計畫ガアルト云フコトヲ御發表願フコトガ、林道ガナクテ苦ンデ居ル者ヲ満足セシメ、資源ヲ活用サセル上ニ非常ニ力強イコトデゴザイマス

カラ、此ノ際御發表ニナルコトヲ私ハ望ミマス

○村上政府委員 私共ガ調査致シマシタ所ニ依リマス、マダ林道ニ依ツテ開發セラルベキ所ノ林分ハ内地ニ於キマシテ約三百万町歩アリマス、之ニ對シテ林道ヲ十年計畫デ付ケタイト云フ希望ヲ持ツテ居リマス、併シ其ノ金額等ハ更ニ物價騰貴ノ關係モアリマスシテ十分研究シテ決メタイ、金額ハ今ノ所確定シテ居リマセヌ、一々何處ニ付ケルカト云フコトモハ大體ノ計畫ダケデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○松浦委員 十年計畫ヲ以テ之ヲ付ケタイト云フ御話デゴザイマスガ、先程ノ昭和十七年末ニハ木材資材ノ需給關係ハ確立スルト云フコト十年計畫ヲ以テ之ヲ付ケタイト云フコトハ一致シナケレバナリマセヌ、然ラバ先程大臣ノ仰セニナリマシタ相當ナ經費ヲ以テヤリタイト云フ其ノ相當ト云フ言葉ハ所謂林道網十年計畫ノ第一年次ノ計畫ヲ以テ相當トセラレルヤ否ヤ、此ノ點ニ付テ大臣ノ御答辯ヲ御伺シタイ

○櫻内國務大臣 一寸松浦君ノ御意見聽取リニクカツタノデアリマスガ、十年計畫ノ第一年次ノ經費ヲ要求スルカ、斯ウ云フ御質問デアリマスカ——其ノ計畫ノ第一年次

ノ經費ガ相當増加スルコトハ、諸物價ノ關係其ノ他ノ關係カラ申シテモ當然ノコトデアリマス、此ノ十年計畫ノ第一年次ニ要スル金額ハ申スマデモナク第一年次ノ分ハ明年カラ要求シテ進行致ス考デアリマス

○村上政府委員 「バルブ」ガ十七年度ニ於テ完成スルコト、林道ノ關係ノ御話ガアリマシタガ、前ニモ御説明申上ゲマシタ通り「バルブ」ノ資材ニ付テ國有林カラ供給スルモノニ付キマシテハ、無論ソレニ伴フ所ノ搬出路ノ豫算ヲ、是ハ協賛ヲ仰イデ成立シテ居リマス、ソレカラ後ノ民有林カラ出スモノハ間伐ニ依ツテ出スコトニ致シマシテ、此ノ方ニ付テモ昨年以來ソレニ伴フ所ノ林道計畫ヲ持ツテ居リマス、ソレニ依ツテ「バルブ」資材ダケハ出シ得ルコトニナツテ居リマス

○松浦委員 茲マデ參リマスト云フト、其ノ十年計畫ノ内容ヤ如何ト云フコトガ、吾等ノ聽カナケレバナラス所デアリマス、來年度カラ十年計畫ノ第一年次ノ計畫ニ入ルトハツキリ大臣ノ仰セニナツタコトハ私共ノ非常ニ喜ビトスル所デアリマスガ、此ノ十年計畫モ、三億圓ノ計畫モ十年計畫デアリ、一億圓ノ計畫モ十年計畫デアアル、然ラバ此ノ十年計畫ト云フモノニ對シテ延長何

「キロ」ノ計畫ヲ以テ居ラレルカ、而シテ全國約千二百萬町歩ノ民有林全體ニ對スル所ノ林道網ノ敷クト云フコトニナリマセウガ、先ツ何「キロ」位ノ計畫ヲ持ツテ居ラレルカ、金額ガ言ハレナイト云フコトナラバ、是ハ豫算ノ關係デアアルカラ、御尤デアリマセウ、然ラバ何「キロ」御數キニナルカト云フコトヲ先ツ御聽キシテ置キタイと思ヒマス

○村上政府委員 後刻申上ゲマス

○松浦委員 私共ノ希望スル林道網ヲ參考ノ爲ニ申上ゲマス、我國ノ北海道、樺太ヲ除イタ内地府縣ノ民有林ノ總面積ハ約千二百萬町歩、内施業計畫ノ對象面積、今度ヤラレルダラウト思フモノガ約九百萬町歩、同上老齡過熟林分ノ今後十箇年間ノ林道ノ開發ヲ要スル林分、是ハ四百五十萬町歩デス、之ニ對スル林道ノ總延長ハ約九萬「キロ」、之ヲ内譯シマスト、車道、軌道ガ四萬五千「キロ」木道、牛馬道ガ四萬五千「キロ」、總工費ハ約三億圓ヲ要スルと思ヒマス、ソレデ其ノ總工費ノ内譯ヲ申シマスト、車道、軌道ハ一米平均五圓、木道、牛馬道ハ一米平均一圓五十錢、之ニ對シ國庫ノ四割ノ補助ヲ要求シタイ、此ノ四割ノ補助ヲ十箇年分トシマスト、一億三千五百万

圓、一年ニハ千三百五十萬圓ノ林道ノ豫算ヲ計上シテ貰ハナケレバ、此ノ四百五十萬町歩ニアル所ノ過熟老齡林分ト云フモノヲ市場ニ出スコトハ困難デアアル、之ヲ出スコトガ出來ナケレバ——此ノ法案ノ第九、第十、第十一條ノ三箇條ニアル所ノ、所謂地方長官ガ必要ト認メル場合ハ禁伐ヲスルト云フコトガアルガ、今年度ナラバ今年度ニ於テ、政府ガ森林組合ヲ作ラナイ所デモ、將來作ラナケレバナラス、過伐サレルト困ルト云フヤウナ氣持ヲ以テ先年過伐、濫伐ヲ恐レテ、是ハ將來保安林ニシテ維持シヨウト云フ積リデ保安林ノ必要デナイ所ニマデ制度ヲ布イテヤツタ時代モアル、現在ハソレガ直ツテ參リマシタガ、サウ云フ氣持デ全部之ヲ抑ヘテシマツテ、サウシテ一方ニ林道ヲ付ケナケレバ、ドウシテモ需給ノ「バランス」ガ破レル、市價ハ暴騰スル、民衆ハ高イ材木ヲ買ハナケレバナラス又雨が降ツテ屋根ガ漏ツテモドウスルコトモ出來ナイト云フコトニナル、遂ニハ「バルブ」ノ供給モ出來ナイト云フ由々シイ事ニナリマスカラ、林道網ノ問題ニ付テハ、其ノ距離、延長、面積等ノ計畫ヲ御發表ニナルト云フコトヲ御約束ニナリマシタシ、此ノ點ニ對シテハ先程大臣カラモ、來年度ハ十箇年

計畫ノ第一年次ニ手ヲ著ケル、斯ウハツキリ仰セニナリマシタノデ、私ハ其ノ十箇年計畫ノ内容ヲ此ノ際此處デ御聽キスル義務ト責任ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、ソレガ御分リニナリマシタナラバ、ハツキリ御答ヲ願ヒタイと思ヒマス

○村上政府委員 私共ノ調査ニ依リマス、是ハ北海道ヲ除キマシタ内地府縣ダケデゴザイマスガ、車道延長ガ約二万二千五百「キロ」、土場ノ面積ガ六千七百「アール」、木材流送路延長ガ八百八十「キロ」、貯木場ガ三万四千「アール」ト云フモノヲ大體ノ目標ニシテ居リマス、尙ホ是ハ今ノ御意見等モ更ニ參照致シマシテ、研究シタイト考ヘマス

○松浦委員 私共ノ計畫ヨリハ大分小サイノデアリマスガ、數字ニ互リマスカラ却ツテ時間ガ掛ツテ皆様ニ御迷惑ダと思ヒマスノデ、此ノ程度デ止メテ置キマスガ、二万二千「キロ」ト九万「キロ」デハ大分隔リガアル、序デアリマスガ、此ノ二万二千「キロ」ト云フノハ何万町歩ニ對スル所ノモノデアリマスカ

○村上政府委員 先程申シマシタ通り三百万町歩デアリマス

○松浦委員 私共ノ計畫トハ百五十万町歩

ノ開キヲ持ツテ居リマス、民有林ノ問題ニ付キマシテハ色々ゴザイマスガ、私ハ主トシテ此ノ法案ヲ施行スルニ當ツテハ林道ガ大切ナ問題デアルト思ヒマシテ、ソレヲ御聽キシタ譯デアリマスガ、更ニ木材資源ノ供給ノ問題ニ付デアリマスガ、本改正法律案ヲ施行スルニ當ツテ、狙ヒ所ノ一ツハ國有林ノ問題デアリマス、民有林ノ統制ト國有林ノ問題トハ離ルベカラザル關係ニアルノデアリマシテ、農林省ニ於キマシテハ勿論其ノ方面ニ十分ナ御研究ト御準備ガアルコトト思ヒマスガ、所謂此ノ改正案ヲ實行シテ行ク上ニ於テハ、内務省拓務省ノ協力ヲ得ナケレバ出來ナイモノデハナカラウカト思ヒマス、只今仰セノヤウニ成程三百万町歩ノ過熟老齡林分ガアルト假定致シマシテモ、直チニソレ全部ニ手ヲ著ケルコトガ出來ナイ、十年ノ計畫ヲ持タナケレバナラス、第九條、第十條、第十一條ノ地方長官必要ト認メルトキハ禁伐ヲ命ズルト云フ此ノ條文カラ行クナラバ、之ニ對スル不足ハ樺太、北海道ノ國有林ヨリ之ヲ供給スルノ途ヲ開カナケレバナラス、之ニ對シテ私が申上ゲタイコトハ、先ヅ樺太、北海道ノ國有林ノ施業方針ニ對スルコトヲ御聽キシタイと思ヒマス、私共技術的ノコトハ分リマセヌガ、從來北

海道、樺太其ノ他植民地ハ自分ノ植エタ木ヲ伐ツテ居ルノデハナイ、所謂天然ノ力ニ依ツテ成長シタモノヲ採ツテ居ル、唯管理經營致シテ居ルダケデアリマス、最近人工造林ノ方面ニ付テモ大分發達シテ參リマシタガ、所謂北海道、樺太ノ開ケル當時、最初ニ於ケル所ノ森林行政ノ根幹ヲ成スベキ思想ハ天然更新其ノモノデアアル、天然更新其ノモノヲ金科玉條トシ、更ニ中ニハ倒木更新論サヘモ唱ヘテ、ソレヲ主張シタ時代モアツタノデアリマス、所ガ時代ハ一轉致シマシテ、天然更新ト云フコトハ、森林ノ不足ノ上ニ於テハ必要ナコトデハゴザイマセウガ、反對ニ考ヘテ見ルナラバ、農作物モ遊牧時代ハ天然更新デアツタデアリマセウ、野ニ生エル木ノ實ヲ採リ、草ノ根ヲ採ツテ生活シタ時代ハサウデアリマセウガ、人ノ殖エルニ從ツテソレダケノモノデハ足ラナイト云フノデ、耕種肥培ノ技術ガ盛ニ研究サレタ、今日デハ多收穫ノ問題ニマデ進ンデ來タ、或ハ電氣ヲ利用シテ科學的ニ農作物ノ收穫ヲショウトスル、或ハ寒中ニ日光ノ光線ノ利用ニ依ツテ苺ヲ栽培スルト云フ時代ニ進ンデ來タ、然ルニ今日木材資源ノ必要ナルコトハ、固ヨリ議論ノ餘地ハアリマセヌ、所謂小面積カラ如何ニシタラ

多量ノ收穫ヲ得ラレルカト云フコトガ、今日ノ森林經營上最モ必要ナコトデアアル、又時間的ニモ其ノ短縮ヲ行ハナケレバナラス經濟的ノ時代デアリマス、此ノ時代ニ於テ天然更新ダケヲ以テ、ソレヲ金科玉條トシタル所ノ施業案ト云フモノハ、是ハ根本カラ變ヘテ行カナクテハナラスノデハナイカト私ハ考ヘルモノデアリマス、是ニ於テ近時ニ於テ色々ソレヲ拜見致シマス、天然更新ノミナラズ有ユル經濟上ノ問題ヲ施業案ニ織込ンデヤツテ居ルト斯ウ仰セニナリマセウガ、私ハ先進國ノ瑞典ヤ、丁抹ヤ諸威其ノ他獨逸ノ經濟林業ノ行キ方ト現在ノ亞寒帶方面ニ於キマスル所ノ行キ方トハ大分趣キガ違ツテ居ルト思フ、所謂今後此ノ小面積カラ如何ニシタラ森林ノ資源ヲ多ク得ラレルカト云フコトニ付テハ、森林ノ施肥ヲモ考ヘナケレバナラス時代ニ進ンダノデハアリマスマイカ、是ニ於テ私ハ先ヅ此ノ施業案ヲ、從來ヤツテ居ラレタヤウナ施業案デナシニ、之ヲ時代ニ合ツタ施業案ニ變ヘテ行クト云フコトガ最モ必要ナコトデナカラウカト思ヒマス、ソレデ私ハ之ニ付テ先ヅ輪伐期ノ低下ト云フコトニ付テ御伺シタイ、現在ノ輪伐期ニ付テハ色々ヤツテ居ラレルコトヲ私ハ知ツテ居リマスガ、之

ニ對スル低下、所謂此ノ輪伐期ヲ制定セラ
レルコトニ付キマシテモ、成長量ヲ中心ニ
シテ如何ナル成長量ヲ持ツテ居ルカト云フ
コトニ付テモ色々御研究ヲナサツテ居ル
デアリマセウガ、今日ノ情勢カラ見ルナ
ラバ、今日ノ時局ノ要求スルモノカラ見ル
ナラバ、從來ヤリ來ツタ其ノ儘ノ施業案デ
ハ、是ハ到底森林法ヲ施行サレタ曉ノ全國
ノ木材ノ需給關係ヲ自給自足スルト云フ建
前カラ考ヘルナラバ、大イニ考慮ヲ拂ハナ
ケレバナラスコト思ヒマスガ、之ニ對シ
テ農林省ニ於キマシテハ、内務、拓務兩省
ニ對スル交渉、之ニ對スル諒解ヲ得テ居ル
カ、或ハ樺太廳、北海道廳ニ於テハ今後ド
ウ云フ御方針ヲ御執リニナルカト云フコト
ニ付テノ御答辯ヲ御伺シタイト存ジマス

○村上政府委員 北海道及ビ樺太廳ニ於テ
從來天然更新デ人工造林ガ少ナカツタ、斯
ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ蝦夷
松、樺松ト云フ木ノ性質カラ見マシテモ、
天然更新デアル方ガ後ノ更新ガ樂デアツテ、
人工造林ト云フコトハ極メテ至難デアルト
云フヤウナ從來ノ研究ノ結果ニ依ツテサウ
ナツテ居ツタノダラウト思ヒマス、併シナ
ガラ北海道廳等ニ於キマシテモ人工造林ノ
出來マス所ニ付キマシテハ、人工造林ニ付
テ多大ノ研究ヲ其ノ方ニ進メラレテ居リ
マス、之ニ付テハ私共ノ方トモ技術的ニ或
ハ林業試驗場長會ト云フヤウナ所デ、緊密
ナ連絡ヲ執ツテ互ニ進ンデ居リマス、尙ホ
伐期ノ低下ト云フコトニ付キマシテハ、是
ハ特殊ノ目的ノ爲ニスル所ノ森林ニ付キマ
シテハ伐期ノ低下ト云フコトモ此ノ際考ヘ
得ルト思ヒマス、併シナガラ一般的ニ國有
林、或ハ北海道等ノ國有林ニ於キマシテハ、
最モ集約ニ利用スルコトヲ考ヘマシテ、伐
期ヲ作ツタノデアリマス、サウシテ其ノ伐
期マデノ間ニ一方ニ於テ間伐ヲ最モ集約ニ
行フ、之ニ依リマシテ林利ヲ最モ有利ニ舉
ゲルト云フコトノ趣旨ノ下ニ現在ノ伐期ガ
出來テ居ルノデアリマスカラ、一概ニ伐期
ノ低下ト云フコトハ困難デハナイカト思ヒ
マス、勿論天然林デアツテ過熟林分ニナツ
テ居ルモノニ付テハ、内地國有林ニ於キマ
シテハ輪伐期ヨリ低イ整理期ヲ設ケマシ
テ、其ノ整理期ニ依ツテ、例ヘバ輪伐期八
十年ノヲ整理期五十年ト云フコトニ依ツテ
伐ツテ居リマス、又内地國有林等ニ於キマ
シテハ擇伐林型ヲ執リマスニ付テハ、特ニ
短期ノ整理期同歸年ヲ設ケテ整理シテ居ルヤ
ウナ次第デアリマシテ、今後トモサウ云フ
方針ニ進ミタイト思ヒマス

○半井政府委員 北海道ノ實情ニ付テ申上
ゲマスルガ、御話ノ輪伐期ノ短縮ニ依ル山
林ノ増産ノ點デアリマスルガ、北海道ノ國
有林施業案ニ於キマシテハ必ズシモ其ノ年
限ニ依ツテ伐採ノ時期ヲ定メテ居ラナイノ
デアリマシテ、寧ロ其ノ成長ノ量ニ依リマ
シテ計畫ヲ立テテ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、隨ヒマシテ出來ルダケ山林ノ利用ヲ集
約致シマシテ、其ノ利用ヲ高メタイト考ヘ
テ居ルノデアリマス、今後施業案ノ再檢討
ヲ行ヒマシテ、未ダ利用サレテ居リマセヌ
林分ガアリマスル場合ニハ、之ヲ十分經濟
林トシテ利用方法ヲ考ヘルナリ、又先程御
話ノアリマシタ林道ノ開發其ノ他林木利用
ノ施設ヲ完備シマシテ、遺利ヲ收拾利用ス
ルヤウナ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス、
又不良林相地域等ニ付キマシテハ、之ヲ寧
ロ全部伐採シマシテ、適當ナル方法ヲ取ツ
テ特殊林相改良事業等ヲ施行スルヤウナコ
トヲ考ヘテ居リマスシ、又山林ノ一分ニ付
キマシテハ、是亦利用ノ餘地ノアリマスモ
ノニ付キマシテ再檢討ヲ致シタイト考ヘテ
居リマス

○小山委員長 松浦君ニ申上ゲマスガ、ア
ナタノ御質問中樺太廳長官ヨリ御答申上ゲ
ルノガ適當ト思フ問題モアリマスケレドモ、
長官ハ先刻マデコナラニ御出席デアリマシ
タガ、今貴族院ノ決算委員會ニ出席シマシ
テ、ソコデ何か答辯ヲナスツテ居ラレルヤ
ウデアリマス、何レ適當ナ機會ニ更ニ出席
ヲ求メテ御質問ニ御答スルヤウニ取計ヒマ
ス

○松浦委員 只今色々各關係當局カラ御答
辯ヲ伺ヒマシタガ、更ニ只今輪伐期ノ御話
バカリ致シマシタガ、此ノ増産ノ問題ニ絡
ンデデアリマスルガ、更ニ保安林ノ問題デ
アリマス、勿論此ノ森林經營ハ國土保安ト
云フコトヲ忘レテハ出來ルモノデハアリマ
セヌ、當然國有林ニ於テハ一層之ニ重點ヲ
注グベキコトハ言フマデモアリマセヌ、私
有林ト雖モ唯利益ダケデナシニ國土保安公
益ノ爲ニ爲スベキコトハ言フマデモナイノ
デアリマスガ、私ハ保安林ト雖モ過熟老齡
林分ニナツテ居ルモノヲ其ノ儘禁伐ニシテ
置ク必要ハナイ、或ハ甚シキハ極論ニナル
カモ知レマセヌガ、國立公園ノヤウナ所デ
モ鑑賞ヲ阻害シナイ程度ニ其ノ林分ヲ向上
矯正シテ行クト云フコトハ最モ必要デアル
ト思ヒマス、之ニ對シテ保安林ノ狀態ヲ此
處ニ——此ノ間資料ヲ要求シテ置キマシタ
ガ、國有林ノ保安林ノコトハナイヤウデア
リマス、私有林ノ保安林ダケガ此處ニアル

ヤウデアリマスガ、私共ノ調ベマシタモノニ依リマス、全國ノ保安林ノ總蓄積ハ七億二千万石アルト思フ、是方現在ハ只今山林局長、北海道長官カラ御答ニナリマシタヤウニ適所適種ノ施業案ヲ講ジテ遺憾ナキヲ期シテ居ルト仰セニナリマシタ、併シ中ニハヤハリ禁伐ヲ其ノ儘ニ行ツテ居ル、甚シキハ私有林ノ禁伐サヘ命ジテアル所ハナイトハ言ハレイナイ、斯ウ云フ場合ニ於テ保安林ト云フモノヲ存置シテソレヲ禁伐シテ、折角ノ資源ヲ立枯ラシニスル、腐朽ニ委セルト云フコトハ此ノ資源ノ缺乏シテ居ル今日執ルベキコトデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、私ハ之ニ對シテ保安林制度ト云フモノハ其ノ置クコトハ差支ナイガ、少クモ水源涵養ヲ目的トシタ保安林ハ、是ハ私ハ普通ノ施業案ト區別シテモ宜イト思フ、所謂普通ノ施業案ト雖モ今日國有林其ノ他是カラオヤリニナラウト云フ御計畫ハ相當政府ニ於テ確信ガアツテオヤリニナツテ居ルコトデアリマセウ、現ニ國有林トシテヤツテ居ル所ノ施業方針ナラバ、水源涵養保安林ト云フモノガナクテモ宜イト思フ、是ハ普通ノ施業案ヲ組ンデモ宜イ、或ハ過熟老齡樹ヲ其ノ儘立テ置クコトニ依ル鬱蔽ノ度、此ノ調節ガ皆ク行カヌデ、

下ノ幼樹ガ盛ニ伸ビルコトガ出來ナイ、立ツテ居ル所ノ過熟老齡樹ハ腐ツテ用ニ足リナイ、斯ウ云フモノヲ伐採シテ整理シテ、適當ニ出スコトニ依ツテ下ノ稚樹ノ育成ヲ盛シナラシメル、幼齡樹壯齡樹ノ成長ヲ盛シニセシメルト云フコトニテアルデアリマス、一方カラ見レバ之ヲ整理スルコトニ依ツテ需給關係ノ「バラシス」ガ能ク取レルト云フコトニナルデアリマスガ、私ハ此ノ保安林制度ト云フモノハ、土砂ノ防止或ハ興地ニ於ケル所ノ治水ノ關係ト云フヤウナ後カラ更新ノ出來ナイ所ノモノハ禁伐シナケレバナナイガ、水源涵養ノ如キモノニ依ツテ存置セラレタル所ノモノハ普通一般ノ施業案ヲ組ンデモ宜イ、若シ普通一般ノ施業案ヲ組ンデハイカスト云フナラバ、今日皆サンノ組ンデ居ル施業案其ノモノハ欠缺ガアルト云ハナケレバナラヌ、私ハ此ノ保安林制度ト云フモノニ付テ、政府ノ御考ヲ聽クト同時ニ、今後保安林ニモ所謂經濟的ナ取扱ヒ、經濟的ナ施業案ヲ組ム必要ガアルト思フガ政府ノ所見如何デアリマスカ

○村上政府委員 松浦サシノ御話ハ洵ニ御尤デアリマス、殊ニ水源涵養保安林等ニ付キマシテハ、之ヲ禁伐ニシテ置ク必要ガナイト云フコトハ大體ニ於テ當ツテ居ルト思ヒマス、禁伐ニシテ置ク爲ニ高齡過熟ニナツテ、ソレガ爲ニ木ガ腐ツテシマフト云フコトハ、今日ノ情勢ニ於テ甚ダ遺憾トスル所デアリマスカラ、適當ナル擇伐ヲ致スコトガ極メテ必要ト思ヒマス、ソコデ國有林等ニ付キマシテハ、大體擇伐作業ヲ施シマシテ、立地ノ狀況其ノ他ヲ見マシテ、極メテ細心ニ擇伐ヲ實行シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、尙ホ民間ノ保安林ニ付キマシテモ、此ノ度森林法ニ依リマシテ施業案ガ確立致シマシタナラバ、現在水源涵養等ノ意味ニ於テ保安林ニナツテ居リマスモノヲ相當ノ部分ハ整理シ得ルモノト考ベテ居リマス、尙ホ殘ツタドウシテモ保安林ニシテ置カナケレバナラヌヤウナ森林ニ致シマシテモ、是ハ施業案ノ指定スル所ニ從ツテ、注意深ク擇伐スルナラバ、相當保安林ト雖モ經濟的ニ利用シ得ルヤウニ、是カラ導イテ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○半井政府委員 只今山林局長カラ一般的ノ御話ガアツタノデアリマスガ、北海道廳ニ於キマシテモ、只今御述ベニナリマシタコトト全ク同様ノ考ヲ以チマシテ、現ニ行ツテ居リマスシ、今後モ更ニサウ云フ方面ニ一層努力致シタイト考ヘテ居リマス

○松浦委員 更ニ國有林ノ施業方針ニ付テ御伺致シマスガ、急ニ先程カラ質問ヲ繰返シマシテ大體肚ニ入ツタノデアリマスガ、重要産業資材供給施業案ト云フモノヲ御考デアルカドウカ、是ハ一寸斯ウ云フコトヲ例ニ取ツテ宜イカドウカ分リマセヌガ、伊勢神宮ノ用材林ガ木曾ノ御料ニアル、又明治神宮ノ鳥居ノ用材ガ臺灣ノ山ニ現在ソレヲ保存シテ、其ノ候補木ヲ作ツテ居ルト云フコトハ、是ハ國家トシテ當然ノ措置デアリマス、斯ウ云フ良イ例ニ倣ツテ、先程施業案ノ御答辯ノ場合ニ於テモ、北海道長官ノ御答辯ノ場合ニ於テモ、此ノ意味ノ御話ガゴザイマシタガ、所謂今日ノ狀況カラ木材ノ供給ヲ考ヘルト、大體四ツニ大別スルコトガ出來ル、先ヅ製紙「パルプ」ノ原料人絹「パルプ」ノ原料、其ノ他鑛山ニ使用スル所ノ杭木、其ノ他又一般ノ木材ト四ツニ區分スルコトガ出來ルト思ヒマス、先程御話ノ施業案ノ中ニ、天然林ノ施業案ハ大徑樹ノ必要ノ場合モアルカラ、サウ一樣ニ行カヌ、ソレハ御尤モデアリマス、大徑樹ハ中百年、百五十年デ出來ナイカラ、其ノコトヲ御考慮ニナルコトハ當然デアリシ、ソレハ實行シテ戴カナケレバナラヌガ、今日樺太ノ狀況、北海道ノ狀況、更ニ内地ノ狀

況ヲ見ルト、今後植エテ行カケレバナラヌ
林ガ何ボアルカ、北海道ノ百六十万町歩、
樺太ノ百五十万町歩、内地ニハ百九十万町
歩ト云フ穴ガアイテ居ル、サウ云フ所ニ所
謂重要産業資源ニ適合セル所ノ資材ヲ植エ
ル、サウ云フ方面ニ現在ノ施業案ヲ組ムノ
ニハ、重要産業ニ必要ナ樹種ヲ選擇シテ植
エルト云フコトガ必要ナデアリマス、所
ガ現在ノ政府ノ制度ニ於テ缺ケテ居ル點ハ
私ハ此ノ點ダト思フ、此間本會議ニ於ケル
所ノ各議員ノ質問ノ中ニモゴザイマシタガ

政府ニハ木材需給調節ニ對スル關係ノ機關
ガナイ、ダカラ實ハ閣下ツテ居ルノダ、
色々ナ思ヒ「パンフレット」ヤ雑誌ヤ
論說ヲ讀ンデ、各角度カラチヨイ「數字ヲ
睨ンデ宜イ加減ヤツテ居ル、是ガ實際デス、
誰シモ本當ニ考ヘテ居ル人ガナイカモ知レ
ナイ、是ハ機關ガナイカラデアリマス、ソ
レダケノ調査機關ヲ個人デ持つテ居ルコト
モ出來ナイ、今日ハドウ云フ資材ガ要ルカ
將來次ノ時代ハ何ヲ使フヤウニナルカト云
フコトノ見透シヲ付ケテ、サウシテ伐採ヲ
スルトスレバ、ドレダケノモノヲ伐採スレ
バ宜イカ、是カラ植エルモノハドウ云フモ
ノヲ植エタラ宜イカト云フコトニ對スル所
謂林業調査機關ト云フカ、木材需給ノ調査

機關ト云フモノヲ政府ガ設ケテ、ソレヲ全
動員シテ、サウシテ樺太廳ニ向ツテ、北海
道廳ニ向ツテ農林省ノ方面ニ於テ、斯ウ云
フ方針デ行カナケレバチラスト云フ所ノハ
ツクリシダ一ツノ「パロメーター」ヲ示ス
所謂日本ノ國土ノ七割ヲ持つテ居ル森林ノ
參謀本部ヲ作ルト云フコトガ私ハ最も必要
デアルト思フガ、之ニ對スル施業案ノ方針
ニ付デドウ云フ御考ヲ持つテ居ラレカ、
之ヲ一ツ御聽キシタイト思フ

〔委員長退席、長野委員長代理者席〕

○櫻内國務大臣 木材需給ヲ調整スル機關
ヲ拵ヘロト云フ御意見デアリマス、其ノ點
ハ考ヘチケレバチラス點ダト思ヒマス、今
日マデ今御話ノ如ク「バルプ」用材ニハドレ
ケダ使ツテ居ルカ、枕木ノ用材ニハ幾ラ、
枕木ニハ幾ラ、電柱ニハ幾ラ、建築用材ニ
ハ幾ラト云フ大體ノ數字ハ判ツテ居ルノデ
アリマス、將來ノ發展ニ對スル所ノ問題ニ
對シテ常ニ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス
ガ、時代ノ趨勢ニ依ツテ幾多ノ變化モアリ
マスジ、此ノ調査ヲ十分ニ致サナケレバ、
御話ノ如ク是カラノ造林計畫ト云フモノニ
對シテ根本方針ガ立タナイノデアリマスノ
デ、只今マデニ於テモ相當研究ハ致シテ居
リマスケレドモ、一層此ノ問題ニ對スル所

ノ調査ヲ致シマシテ、綜合的ニ計畫ヲ樹立
致シタイト考ヘマス

○松浦委員 大臣ノ御答辯御尤デゴザイマ
スガ、成程誰シモドンナ機關ヲ作ツテモ將
來ノ見透シト云フコトハソレハ面倒カモ知
レマセヌ、ダカラシテ私ハ將來ノ見透シト
云フコトノ本ハ、日本ノ森林ハドウ云フ風
ニヤルカ、日本ノ森林産業ハ何處ニ重點ヲ
置クガ、ソレニ依ツテ私ハ自然ニ決マツテ
來ルト思フ、今日ノ瑞典ガアノ狹イ國ニ於
テアレダケノ輸出ヲヤツテ居ル、現ニ我國
アタリモンツレヲ買ツテ居ル、或ハ「スカシ
デナビヤ」其ノ他諸國、或ハ獨逸ノ如キ狀
態ハ、先ノ見透シト云フヨリモ現在自分ハ
ドウ云フ計畫ヲ持つテ行クカ、自分ノ國ノ
森林産業ト云フモノハ何處ニ重點ヲ置クカ
ト云フコトニ於テ、自然ニソレガ決マルモ
ノデアリマスマイカ、私ハソレニ付テノ
御所信ヲ御伺シタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ハ要スルニ日
本ノ國ノ將來ノ事業ガドウ云フ風ニナツテ
行クカト云フコトニ對シテ豫メ計畫ヲ立テ、
即チ見透シヲ立テ行カナケレバチラスコ
トト考ヘルノデアリマス、從來ハ御承知ノ如
ク一番多ク使ツテ居ツタノハ一般ノ建築用
材デアリマセウガ、其ノ以外ニ於テ即チ坑
木ヲ多ク使ツテ居リマス、此ノ坑木ヲ多ク
使ツテ居ルノハ即チ石炭デアルトカ鑛山デ
アルトカ云フモノガ發展致シツツアル關係
デアリマスガ、最近ニ至リマシテ「バルプ」
資材ト云フモノガ非常ニ將來關心ヲ持タナ
ケレバナラヌ狀態ニナリマシテ、逐次増加
シツツアリマスガ、マダ十分ナル發展ヲ致
シテ居リマセヌ、併シ是ハ吾々カラ見マス
ルト、必ズヤ將來マダ相當發展致スモノト
考ヘチケレバナリマセヌノデ、日本ト致シ
マシテハ「バルプ」資材等ニ對シマシテモ、
十分今カラ準備致ス必要ガアルデアラウト
思フノデアリマス、枕木デアルトカ電柱デアルト
カ云フヤウナモノモ相當今マデ出シテ居ルノデ
アリマスケレドモ、是ハ凡ソ日本ノ將來ニ於ケ
ル枕木ノ需要高、電柱ノ需要高ト云フモノ
ハ見當ガ付クデハナカラウカト思ツテ居リ
マス、只今ノ所デハ從來ノ是等ノ需要狀態ヲ調
ベ、又日本ノ産業界ノ情勢ヲ考ヘテ見マシ
テ、ソレヲ基準ト致シマシテ將來ノ造林計
畫ヲ立テナケレバ相成ラス、斯ウ云フ見地
カラ當局トシテハ調査致シテ居ルノデアリ
マス、併シ御話ノ如ク之ヲ十分ニ徹底のニ
調査ヲ致シテ、サウシテ將來需要ガ起ツタ
時ニ、之ニ應ズルダケノ準備ヲ致スト云フ
事柄ハ、是ハ餘程慎重ニ考慮シテ又十分研

究シテ爲サナケレバナラスノデアリマスカラ、御話ノ如ク是ノ調査機關ノヤウナモノヲ設ケルト云フ必要モ或ハアルデハナカラウカト考ヘルノデアリマスガ、只今之ニ對シテドウスルト云フコトヲ御明答申上グルマデニハ至ツテ居ナイノデアリマス

○松浦委員 大臣ノ御答辯御尤ノ點モ多クゴザイマス、私ハ森林經營ト云フモノハ、要ルヤウニナツタカラ今急ニ思付イテヤルト云フヤウナ、米ヤ麥ノ増産計畫ナンカト違ヒマシテ、國ノ方針ヲ決メルコトが必要ダト思フ、私共考ヘマスノニハ、我國ハ將來支那トノ關係ハ、是ハ重要ナ問題ニナツテ參リマスガ、從來ノ日本、所謂祖國日本ト云フコトカラ考ヘルナラバ、棉ハ餘リ出來マゼヌ、併シハドウシテモ衣食住ノ棉ハ一番必要ナモノデアリマス、所謂國土ノ七割ヲ持つテ居ル所ノ森林ハ棉ノ代用ニスルト云フコトガ私ハ最モ必要ナコトデハナカラウカト思フ、ダカラシテ、今後此ノ民有林ニ於テ其ノ施業案ヲオ組ミニナリ、或ハ今後無立木地ヲ造林シテ行クト云フヤウナ場合ニハ、其處ニ重點ニナルノデハナ産業資材ト云フコトガ重點ニナルノデハナカラウカト思ヒマス、隨テ此處ニ重點ヲ置イテ考ヘル場合ニ、先程モ大臣ノ御答辯

ノ中ニゴザイマシタガ、杭木ノ問題ガ將來大キナ問題ニナルダラウト云フコトハ洵ニ御尤ナ次第デゴザイマス、假ニ一億万ノ炭ヲ出ストスルナラバ、一千万石ノモノヲ必要ト致シマス、サウナルト一千万石ト云フモノハ現在ノ紙ノ「パルプ」ニ該當スル、サウスルト現在ノ杭木ト云フモノハドウ云フ種類ノモノガ多ク使ハレテ居ルカト云フト、潤葉樹モ一部分使ハレテ居ルガ、其ノ潤葉樹ト云フモノハ極小部分ナモノデアリマス、大部分ガ針葉樹デアル、針葉樹ハ「パルプ」ノ上カラ言ツテモ必要ナンデアル、又潤葉樹デモ出來ヌコトハナイ、ソレハ「コスト」ノ問題ニナツテ參リマス、サウスルト國家ノ現在ノ資源ハ何ガ一番多イカト云ヘバ約九十八億バカリノ蓄積ノ中デ五割五分ト云フモノハ潤葉樹デアツテ、針葉樹ノ方ハ少イ、併シ少イ針葉樹ノ方ガ利用ガ多イ、サウナルト茲ニ一ツノ方針ヲ御決メニナツテ、一方將來はカラ植エテ行ク處ニハ針葉樹中心ノ造林ヲ行フ、或ハ從來アル所ノ潤葉樹ト云フモノノ利用ニ付テモツト考ヘナケレバナラスデハアリマセヌカ、ソレハ今マデ枕木ナドモ潤葉樹モ可ナリ使ハレテ居リマシタガ、最近ニナツテ隨分赤松モ使ハレテ居ル、又杭木ナドハ悉ク針葉樹ガ

使ハレテ居ル、最近ハ北海道廳ガ獎勵シテ潤葉樹ヲ御使ヒニナルヤウニナリマシタケレドモ、ヤハリ針葉樹ヲ殆ド使ツテ居ル是ハ農林省ハ「ヒトラ」ガヤツテ居ルヤウニ、一ツノ法令ヲ出シテ杭木ニハ針葉樹ヲ使ハセナイト云フコトニナツタナラバ、ドレダケ此ノ棉ノ代用ニナル所ノ人ヲ拵ヘルノニ樂ニナルデアリマセウカ、其ノ資源ヲ拵ヘルノニ樂ニナルデアリマセウカ、又四十數億アル所ノ潤葉樹ヲ利用スル上ニ於テモ樂ニナルデハアリマセヌカ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 或ル事業ニ對シテ針葉樹ヲ使ハセナイ、サウシテ一方ニ於テ針葉樹ヲ造林スルト云フ方策ヲ探ツテハドウカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、現在ノ狀態ニ於キマシテ所謂製紙原料ニシロ或ハ杭木ニシロ相當針葉樹ヲ使ツテ居ルノデアリマス、此ノ際急激ニ左様ナ命令トカ或ハ法律トカ云フモノヲ作ルト云フコトハ果シテ産業上下ウデアラウカ、只今ノ所ニ於キマシテハ、未ダ此ノ問題ニ對シテ考ヘテ居リマセヌ、併シ針葉樹ノ造林ヲ獎勵スルト云フコトハ洵ニ御尤ナ御意見デアリマシテ、是ハ私共モ左様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○村上政府委員 「パルプ」資材ト致シマシテハ、針葉樹ヲ造林シマシテ、殊ニ今後ニ於キマシテハ、生長ノ早イ所ノ南方方面ニ針葉樹ヲ植栽スルコトガ、一番必要ト思ヒマス、ソレニ依リマシテ「パルプ」ノ資材ハ大徑木ヲ必要トシナイノデアリマスカラ、針葉樹ヲ植栽シテ間伐ヲ集約ニ行フコトニ依ツテ「パルプ」資材ノ供給ヲ確保シナケレバいかヌ、尙ホ今杭木ヲ全部潤葉樹ニシロト云フ御話モアリマシタガ、杭木ノ中デモドウシテモ松ヲ使ハナケレバナラスト云フ所ガ當業者ノ調査シテ居ル所ニ依リマシテハアリマスカラ、杭木ニ對シテ全部潤葉樹ニシロト云フコトハ是ハ中々難カシイコトト思ヒマス、併シナガラ現ニ松等ヲ使ツテ居ル所ノ杭木ノ或ル部分ヲ潤葉樹ニ代ヘテ行クト云フコトハ是ハ極メテ必要ナコトデアリマシテ、既ニ一部サウ云フヤウニ實行サレツツアルノデアリマス、是ハ更ニソレノ慾ヲ進メテ行キタイト思ヒマス

○松浦委員 次ハ國有林ノ特別會計ノ問題ニ付テ少シ御伺シタイト思ヒマス、此ノ問題ニ付キマシテハ、松尾、馬岡兩議員カラモ本會議ニ於テ御質問ガアリマシテ、大臣ノ御答辯ヲ伺ツテ居リマシタガ、兩君ノ御質問ニ對シマシテハ私ハ同感デアリマス、殊ニ兩君モ御述ベニナリマシタガ、現在ノ

狀況ハ一寸其ノ趣ガ變ツテ參リマシタガ、從來ハ是ガ一般會計デアル爲ニ大藏省ニ對シテ收入ノ豫約ガアツタ、其ノ收入ノ豫約ノアル爲ニ、木材市價デモ下ルナラバ、ドンドン増伐ヲヤツテ、サウシテ收入ノ辻褄ヲ合セル、其ノ爲ニ現ハレルモノハ市場ノ混亂デアル、所ガ本當ハ國有林ノ使命ハ混亂スベキ市場ヲ匡正スルニアル、ソレヲ是ガ特別會計デナイ爲ニ、大藏省トノ間ノ豫約ノ辻褄ヲ合セル爲ニ、ドン／＼ト濫伐ガ行ハレル、市場ハ混亂スル、丁度私共考ヘルナラバ、米穀自治管理法ノヤウニ、一ツノ政府ノ持米ガアツテ、米ガ暴騰スル場合ニハソレヲ賣放シテ、其ノ相場ヲ直スト云フヤウニ、國有林ハ民有林ニ對シテ役目ヲ果スノガ當然デアルガ、逆ノ效果ガ現ハレテ居ル、是ハ特別會計デナイ一ツノ缺陷デアリマス、私ハ之ニ對シテモウ一ツ國有林ハ、特別會計ニシナケレバナラスト云フ情勢ニ付テ申上ゲマス、現在遞信省モ鐵道省モ特別會計ニナツテ居ル、遞信省ノ如キハ最近ニ於テナツタ、所ガ國有林ガ一般會計デアル爲ニ森林收入ガ——是ハ内地バカリヂヤアリマセヌ、樺太、北海道モ含シテ日本全部ノ話ヲシマスガ、森林收入ガ、一般會計デアル爲ニ、當然森林ニ

還元シナケレバナライモノガ還元サレナイデ、他ノ一般ノ事業ニ使ハレテ居ル、其ノ結果ハドウカ、全體ノ森林ヲ見レバ搾取ノ林業デアル、全ク掠奪産業デアル、其ノ爲ニアシタ大キナ穴ガアイテ來ル、併シスク言ハレルデセウ、國有林ニ穴ハアイテ居ナイノダ、斯ウ言ハレテ居ル、併シソレハサウヂヤナイ、國家ト云フ大キナ上カラ申スナラバ、國有林デアラウガ、民有林デアラウガ、穴ノアイタ事實ニハ間違ヒナイ、森林ト云フ一ツノ經濟カラ言フナラバ、穴ノアイテナイ方ノ力ヲ以テ穴ノアイタ方ヲ塞イデヤル、アイタ方ヲ助ケテヤルト云フコトガ本當ノ建前ヂヤナイデセウカ、殊ニ此ノ感ヲ北海道樺太ニ於テ深クスル、今日北海道、樺太兩方デ約三百万町歩ノ穴ヲアケテ居ル、ソレハ悉ク私有林デアル、併シ是ハアノ文化ヲ築ク爲メ、アレヲ開拓スル爲ノ犧牲林ト見ナクチャナラス、ソレナラバ他ノ國有林ノ收入ノ還元率ヲ高メテ、現在荒廢セル森林ヲ蒼クスルト云フコトガ必要デセウ、内地ノ人ガ北海道、樺太ノ旅ヲシテ何ト云フカ、北海道、樺太ハ山ガアルト思ツタガ、鐵道沿線ニハ山ヲ見ナイト云ヒマス、私ハ之ヲ自分ノ住ム郷土トシテ實ニ慚愧ニ堪ヘナイ、是ハ何故斯ウカト云フ

ト、當局ハ植エタクトモ、其ノ方針ヲヤリタクテモ、一般會計デアルガ爲ニソレヲヤルコトヲ許サナイ、私ハ森林收入ハ森林ニ還セト云フコトガ根本信念ナンドス、ソレデ、此ノ意味ニ於テ先日本會議ニ於テ述べラレマシタコトハ大臣ハ御記憶デセウ、私ハ更ニソレニ附加ヘテ森林收入ト云フモノハ特別會計ニシテ、宜シク現在ノ荒廢林ニ還元セヨ、サウシテ全部ガ蒼クナツタ場合ニ國家ノ必要ナル金ハドン／＼ヤルヤウニスルコトガ、國家ニ對スル忠實ナ方法デアルト思フ、之ニ依ツテ本當ノ資源ノ培養ガ出來ルト思フ、森林國日本ト云フガ、現在北海道、樺太ニ三百万町歩ノ穴ガ明イテ居ルト聞クナラバ、戰慄スルデセウ、殊ニ樺太ニ行ツテ見ルト大泊港カラ上ツテアノ沿線ヲ通ツテ居ル時分ニ、沿線カラ眼ノ届ク所ニハ山ヲ見マセヌ、アア云フ狀況ノ原因ハ何處ニ在ル、無論山火モアル、ソレハ個人所有ノ濫伐モアル、併シ大キナ眼デ見レバ、今日ノ樺太ヲ開拓シ、北海道ヲ開拓スル爲ノ犧牲林デアツタ、ソレヲ助成ナリ獎勵ナリニ依ツテ之ヲ元ヘ還シテ來ルト云フコトガ必要ナル條件デアリマスマイカ、其ノ他只今此ノ改正森林法案ヲ實行スル爲ニハ、林道ノ金モ要ルデアリマセウ、或ハ其ノ他

ノ造林補助費モ要ルデアリマセウ、サウ云フ場合ニハ一般會計カラ取ルコトハ中々困難デアル、之ヲ全部獨立會計ニシテ、サウシテ徹底スルナラバ完全ニヤツテ行ケル、私ハ此ノ事ヲ申上ゲ大臣ノ奮起ヲ望ムノデアリマス、遞信省ハ最近ニ於テ獨立會計ニシタ、是モ遞信省ノ頑張りニ依ツテ私ハ出來タト思フ、議會ノ速記録ヲ調べテ見ルト、森林會計ヲ國有林ノ特別會計ニスベシト云フコトハ、幾タビカ議場デ叫バレテ居ルガ、今日尙ホ其ノ儘ニナツテ居ル、此ノ際一ツ大臣ハ其ノ手腕ヲ十分ニ御揮ヒナツテ、之ヲ特別會計ニスル、サウシテ今日ノ荒廢セル森林ヲ立直ス、所謂日本ノ現況カラ見ルナラバ、三割ガ普通ノ宅地、田畑、都市ノ道路、鐵道デアツテ、七割ガ山デアル、生産擴充ノ聲ハ國土ノ三割ニ於テ叫バレテ居ルダケナノデス、本當ノ生産擴充ヲ言フナラバ、國土全體カラシテ生産ヲ擴充シナケレバナラス、其ノ森林行政ニ付テ實ハ從來餘リ疎ンゼラレテ居ツタ、此ノ基因スル所ハ色々アルガ、先ヅ會計ノ自由ノ利カスト云フ所ニ一ツアル、之ニ對スル所ノ大臣ノ確信ヲ御伺シタイト思ヒマス、議會ニ對シテ森林法ノ改正ヲ通ス、是モ隨分大臣及ビ政府當局トシテハ困難ナコトデモゴ

ザイマセウガ、議會ニ於テ此ノ法案ヲ通スト云フダケノ考ガアルナラバ、農林省ハ一丸ニナツテ、大藏省ニ當ツテ、大藏省サヘ動カセバ出來ルコトデアル、内部ノコトデ出來ルコトデアル、議會ヨリモ事易イト思フ、私ハ先程ノ林道ノ問題ト森林ノ特別會計ノ問題ハ内輪デ出來ルコトデアル、ソレヲ拵ヘルト共ニ此ノ法案ヲ通過セシメテ實行スルト云フ所ニ、始メテ此ノ法案ガ活キルト思フ、之ニ對スル所ノ大臣ノ御信念ハ如何デアリマセウカ、ソレヲ御伺シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 森林特別會計ヲ設定シテ、森林ノ發達ヲ圖ル、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、本會議場ニ於キマシテモ述べマシタ如ク、私ハ其ノ方針ニ依ツテ進ミタイトハ考ヘテ居リマス、併シ今直チニ之ヲシテ宜イカ惡イカ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、今考究中デアリマスカラ、明言ヲ致シ兼ねマスガ、兎ニモ角ニモ森林特別會計ト云フモノヲ設ケテ、茲ニ森林ノ事業ヲ完成スルト云フコトニ進ンデ行キタイト云フ考ヲ以テ調査ヲ進メテ行キタイト思ツテ居リマス、御話ノ如ク木材價格ノ安カツタ時ニ、豫算ノ金額ニ相當スル材木ヲ出ス爲ニ、或ハ豫想外ニ多ク伐ツタト云フヤウナ例モア

ルカモ知レマセヌガ、今日ハ全ク事情ガ異ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ點ハ今ハ心配ハナイト思ツテ居リマス、又現在山林局所要ノ金額ト山林收入トノ關係ニ付キマシテ考慮ヲ拂ハナケレバナラスト云フ點デアリマスガ、是ハ數字ノ問題デアリマスカラ、政府委員カラ御答辯ヲ申上ゲルコトニ致シマス

○村上政府委員 明年度ノ山林收入ハ四千三百五十九萬圓餘ニナツテ居リマス、之ニ對シマシテ山林局ノ支出、即チ國有林以外ノ各種ノ獎勵事業、治水事業其ノ他ヲ合セマスト四千六百七十五萬圓位ニナツテ居リマス、即チ山林收入以上ノモノヲ山林局關係ニ於テハ出シテ居リマス

○松浦委員 御話デゴザイマスガ、成程内地ノ國有林ノ還元率ハ可ナリ多イノデアリマス、併シ北海道、樺太ノ統計ヲ見マス、實ニ其ノ還元率ハ少イ、北海道ハ是ハ十一年ノ統計デスガ、三三%管理經營費ヲ入レテ還元シテ居リマス、樺太ハ一六%デス、内地ハ六六%、御料ハ四二%還元致シテ居リマス、先進國ノ還元率デハ、獨逸ハ六〇%以上ヤツテ居リマス、内地ハ御話ノヤウニ還元率ガ非常ニ多イ、所ガ其ノ他ノ方面ハ森林ニ對スル還元率ガ少イ、其ノ結果現ハ

レテ居ルコトハドウカト言ヘバ、荒廢林ガ多クアルト云フコトニナル、殊ニ樺太廳ノ長官ガ今日ハ居ラレナイト云フコトデスカラ、此ノ次ノ機會ニ申上ゲマスガ、樺太ノ一六%ハ實ニ搾取林業ト言ハザルヲ得ナイ、斯ウ云フ情勢デアリマスカラ、森林ノ收入ヲ山ニ還元スル上ニ於テモ獨立會計ハ必要デアル、先程申上ゲマシタヤウナ濫伐ノ弊ヲ防グト云フコトニ於テモドウシテモ必要デアル、之ニ對シテ大臣ハ兎ニ角善處スルト云フ話デアリマスガ、唯善處スルト云フダケデハ私ハイカスト思フ、本當ニ大臣ガ肚ヲ決メラレサヘスレバ、特別會計ニスルコトハ何デモナイト思フガ、特別會計ニスルコトハ農林省ノ方デハ損デアル、若シ損デアラバ私ハ主張シナイ、農林省ハ特別會計ニスルコトガ希望デアル、ソレガ私ハ重點ダト思フ、ソレニ依ツテ起ルモノダト思フ、何程私共ガヤカマシク言ヒマシテモ、希望デナイモノハ行ハレナイ、農林省ガ特別會計ニスルコトガ可デアル、ソレヲ望ンデ居ル、或ハ特別會計ニシナイデ、現在ノ儘ニシテ置イテ、サウシテ一般會計カラ貰ツテ來ル方ガ得デアルト云フノカ、ソレヲ御伺シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今政府委員カラ申上ゲ

マシタ通り、農林省關係ニ於テハ本年度ハ大藏省カラ貰ツテ來ル方ガ多イノデアリマス、併シソレハ色々ナル災害其ノ他ノ關係モアリマスノデ、平年度ニ付テ考ヘテ見マシテ、將來ノ山林事業ノ發展ニ鑑ミマシテ、其ノ見地カラ致シマシテ、特別會計ト致シテ大イニ努力スルコトガ宜イト云フ考ハ持ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ今御話ノ如ク、單純ニ直グニ特別會計ニ直スト云フ譯ニハ參ラスノデアリマシテ、色々ナル調査モ致サナケレバナリマセスカラ、只今何時カラ之ヲ實行スルト云フコトハ此處デハ申上ゲ兼ねマスケレドモ、此ノ問題ニ對シテハ十分考究致ス考デアリマス

○松浦委員 大藏大臣ガ居ラレマセスカラ御聽キスルコトハ出來マセヌガ、然ラバ農林省ノ方ハ大藏省ガ承認スレバソレヲ取ツテ來タ方ガ宜イト云フコトニナリマセウカ
○櫻内國務大臣 特別會計ニスルト云フ風ノ希望ヲ持チマシテ調査ハ致シテ居リマスケレドモ、今直チニ之ヲ大藏省ニ交渉ヲ開始スルトカ、或ハ來年マデニ之ヲドウシテモ實行スルヤウナ方法ヲ執ルトカ云フ風ノ所マデハ進ンデ居リマセヌ、色々ノ方面カラ十分調査ヲ致シマシテ、此ノ方針ニ依ツテ進ムコトガ最善ノ途デアル、將來ニ取ツ

テモ是ガ森林開發ノ爲ニ「ベスト」デアル、斯ウ云フ結論ニ到達致シマシタ時ニ其ノ問題ニ對シテ折衝ヲ始メルノデアリマシテ、只今直チニ此ノ問題ヲ取上ゲテ特別會計ニスルト云フコトヲ私カラ申上ゲル譯ニハ行カナイノデアリマス

○松浦委員 大臣ノ御話デアリマスガ、少シ諄イヤウデゴザイマスケレドモ國有林ヲ特別會計ニセヨト云フコトハ今始ツタコトデハアリマセヌ、議會ノ歴史ヲ見マス、

私ハ此處ニソレヲ調ベテ持ツテ參リマシタガ、諄イカラ申上ゲマセヌガ、數回此ノ議場デ論ゼラレテ居ル、議院ノ希望ハ、最早政府ニハ徹底的ニ届イテ居ルト思フ、然ラバ民意ヲ暢達スルナラバ、調査研究ハ是ハ當然今マデニ行ハレテ居ラナケレバナラス等デアル、ソレガ今言ハレテヤルカノヤウナ答辯デハ満足致シマセヌ、私ハ折角ノ大臣ノ御話デゴザイマスガ、本當ニヤル意思ガアルナラバ、モウ少シハツキリシタ御答ヲ願ヒタイト思フ、唯答辯サヘスレバソレデ宜イト云フノデハナシニ、此所ヘ持ツテ來ル方ガ良クナイト云フナラバ、私共ハ餘リ主張シナイ、併シ私共ノ見地ハドウシテモ是ハ特別會計ニスベキデアル、斯ウ云フ考ガアル爲ニ申シテ居ルノデアリマスガ、

今マデ森林法ノ特別會計ヲ制定スベシト云フコトハ、此ノ議會ニ於テ有ユル問題ニ付テ叫バレテ來テ居リマス、是ハ農林省ノ方デハ分ツテ居ル筈デアル、ダカラソレニ對スル調査研究ハ濟ンデ居ル筈デアル、其ノ調査研究ヲ一ツ御發表ニナツタラドウデスカ

ルト云フコトハ此處デ言フコトハ出來ヌガ、自分ハ之ヲ特別會計ニスルト云フコトガ宜イ、サウ云フ風ニスルコトガアナタノ司ラレル所ノ行政ヲ實行スル上ニ於テ宜イト云フコトナラバ、ヤラナケレバナラスト思ヒマスガ、是ハドンナ障礙ガアツテモヤリ通ス程度ノ可ナリデアルカ、或ハ漫然タル可ナリデアルカ、其ノ可ナリノ内容ニ付テ御伺シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 從來此ノ問題ハ議會ニ於テ再三問題ニナツテ居ルノデアリマシテ、農林省ニ於テモ十分調査ヲシテ居ラウ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレハ相當ニ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノ問題ヲ捉ヘテ直チニ明年度カラ實行スル、實行ニ移スト云フ所マデニハマダ參ツテ居ラスノデアリマス、私自身ト致シマシテハ、從來ノ議會ノ情勢ニモ顧ミ、又實際將來ノコトヲ考ヘマシテ、特別會計ヲ設クルコトガ可ナリト云フ信念ハ持ツテ居リマスガ、之ヲ實行ニ移スニ付キマシテハ移スダケノ考慮ヲ拂ハナケレバナラスノデアリマシテ、今直チニ之ニ對シテ明答ヲ致スコトハ出來ナイノデアリマス

○櫻内國務大臣 ドウ云フ障礙ガアツテモ之ヲ斷行スルカ、ドウデアルカト云フ風ナ御質問ノヤウデアリマスガ、ソレハ障礙ノ度ニ依ルノデアリマシテ、私自身ハ今日左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ自分ノ考ヘテ居ルコトガ消極的デアルカドウカト云フコトデアリマスガ、十分ニ急速ニ調査ヲ致シマシテ、愈、是ハドウシテモサウシナケレバナラスト云フマデノ結論ニ到達致シマスレバ——明年カラ實行スルカセヌカト云フヤウナコトヲ今御話デアリマシタガ——或ハ明年カラデモ實行スルヤウニナルカモ知レマセヌケレドモ、今此ノ席デ此ノ問題ヲ特別會計ニ移ス考ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ直チニ申上ゲルコトハ出來兼ネマス譯デアリマス

トラ私ハ是以上追究ハ致シマセヌ、ドウカ私共ノ議場ニ於ケル希望ハ斯ル狀況デアルコトヲ十分ニ御認識願ヒマシテ、只今大臣ノ仰セニナリマシタ氣分ヲ繼續セラレマシテ、可ト云フコトニナルナラバ、一刻モ早ク有ユル障礙ヲ突破シテ、特別會計ニセラレンコトヲ望ミマス樺太廳カラ御見エニナツテ居ルサウデアリマスカラ、樺太廳ノ問題ニ付テ少シ御聽キシタイト思ヒマス、今丁度樺太廳ノ關係ヲ御聽キシテ居ツタノデアリマシテ、森林收入ニ對スル植林、其ノ他山ノ森林資源培養ニ對シテノ還元率ガ少イト云フコトニ付テ、色々今申上ゲテ居リマシタノデスガ、現ニ此ノ統計ヲ見マス、

〔長野委員長代理退席、委員長著席〕
千九百四十八万石ニ對シテ
三百十一万餘石ノ還元ヲ致シテ居リマス、ソレハ一六%デアリマシテ、全國ノ森林、官有林ニ於テ樺太廳ノ還元率ガ一番低下シテ居ル、内地ハ六六%、北海道ハ三三%御料ガ四二%、樺太ガ一六%デス、斯ウ云フ搾取林業ヲヤツテ居ルカラ、今日ノヤウナ荒廢林ガ出ルトモ言ヘルノデアリマス、併シアノ荒廢林ノ出ルト云フコトノ原因ニハ、相當山火ナドガアリマシテ樹ガ被害ヲ受ケタコトモ認メテ居リマス、併シアアシタ被

○松浦委員 特別會計ニスルコトヲ可ナリト仰セニナリマシタ大臣ノ御言葉ニ付テ、一步ヲ進メマシテ御伺シマスガ、モウ少シ私ハ考ヘテ戴キタイト思フ、來年度カラヤ

○松浦委員 ソコマデノ御信念ヲ聽キマシ

害ガ多ケレバ多イ程、還元率ヲ多クシナケレバナラヌノデアツテ、森林收入ヲ喰物ニシテ居ルト云フコトガ本當ハイケナイノデス、樺太ヲ愛スルナラバ、モウ少シ還元率ヲ高メ——船ニ乗ツテ大泊カラ樺太ニ上ツテ見ルト殆下山ガ近所ニ見エナイ、アアシタ「ツンドラ」地帯ヲ一遍坊主ニシテシマツタラ、中々元ニ還スノハ容易デハナイ、之ニ對シテドウシテ植林ヲスルカ、ドウ云フ計畫ヲ持つテ居ルカ、又人工植林ノ經過ハドウデアルカ、天然更新ノ狀況ハドウデア

ルカト云フコトニ付テ、樺太ノ森林植林ニ付テノ長官ノ御意見ヲ御伺シタイ

○樺居政府委員 大變御親切ナ御注意ヲ戴キマシテ恐縮ニ存ジマスガ、只今森林收入ニ對スル森林ノ還元率ガ、樺太ハ全國最低率デアルト云フ御叱リデアリマス、一六%ト云フ御話デスガ、最近ハ少シ其ノ率ガ高マツテ參リマシテ、十三年度ニ於テハ二六%ニト云フ豫定ニナツテ居リマス、ソレデモ尙ホ甚ダ低イコトハ十分承知シマスガ、徐々ニ還元率ヲ充實致スト云フ方向ニ向ツテ進ンデ居リマスノデ、御期待ニ副ヒマシヤウ十分努力ヲ致シ、森林資源ノ培養確保ニ十分注意ヲ注ギタイト考ヘテ居リマス、最近ニ於キマシテハ既ニ林政ガ軌道ニ乗ツ

テ居リマシテ、樺太ノ最大ノ資源ヲ將來長期ニ亘ツテ恒久的ニ合理的ニ利用スルト云フ方法ニ付キマシテハ、有エル努力ヲ致シテ居リマス、併シ山火事デアリマストカ、或ハ蟲害デアリマストカ、又從來誤盜伐等ガ相當ニ行ハレテ居リマシタ爲ニ、隨分林力ヲ涸渴サシタト云フコトハ、從來ノ種々ノヤリ方等ニ對シマシテ甚ダ遺憾ニ思ツテ居ル所デアリマスガ、最近ハ其ノ挽回ニ全力ヲ盡シテ居リマス、是カラハ明朗ナル林政ガ確實ニ行ハレルコトヲ實ハ期待シテ居リマス、又左様ニ努力致シタイト思ツテ居リマス

○樺居政府委員 大變御親切ナ御注意ヲ戴キマシテハ、多少ノ専門的ニ涉リマスノデ、私カラ技術的ナ説明ハ致シ兼ねルノデアリマス、大體樺太ノ現在ノ森林ノ蓄積量ハ蝦夷松、榎松ガ其ノ大宗デアリマスガ、是ガ六億五千四百萬石ニ上ツテ居リマス、ソレカラ「グイマツ」ガ五千五百萬石、其ノ他樺雜木等ガ一億二千二百萬石合計致シマシテ八億三千一百萬石程度、斯様ニ概算致シテ居リマス、領有當時二十億石ト稱セラレマシタモノガ、只今デハ減ジマシテ、僅ニ八億三千萬石内外ト云フ風ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ樺太ト致シマシテモ亦日

本ト致シマシテモ、「パルプ」資材其ノ他ノ供給源ト致シマシテ、非常ニ重要性ヲ持テ居リマスル樺太ノ此ノ森林資源ヲ何處マデモ愛護シ、撫育シ、其ノ林力ノ培養ヲ圖ラナケレバナラスト云フコトモ痛切ニ考ヘラレマシタ、ソコデ御承知ノ通りニ昭和七年ニ林政改革ガ行ハレマシテ、爾來其ノ軌道ニ乘リマシテ、有エル策ヲ講ジテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ只今ニ於キマシテハ、其ノ方針ニ則リマシテ、昭和八年カラ十二年ニ施業案ノ編成ハ終リマシテ、十三年カラ十七年マデノ五箇年ニ、第一次ノ補正的ノ研究ヲ只今致シテ居ルノデアリマス、其ノ結果大體只今ノ所標準年伐量ト云フモノハ、一千萬石程度デアルト云フコトニ推定シテ居リマス、細カイ數字ハ省キマスガ、大體一千萬石ト云フコトニ致シテ置キマシテ、其ノ中デ恒久的ナ標準年伐トナルモノハ八百五十萬石程度デアルト考ヘテ居リマス、標準年伐量ニ對シマシテ、毎年伐ツテ居リマス伐採量ト云フモノハ、千七百萬石程度ニナツテ居リマスノデ、六百萬石以上ノ過伐トナトノ間ニ六百萬石程度ノ間隔ノアリマスコトハ、樺太森林トシテハ負擔過重デアリマス、ソレデ如何ニシテモ其ノ適合ヲ圖ラナ

ケレバナラスト考ヘテ居リマシテ、極力サウ云フ風ナ方向ニ向ツテ只今調整ノ處置ヲ講ジテ居ルノデアリマスガ、併シ中々容易ニ六百萬石ト云フモノノ間隔ヲ縮減スルト云フコトハ困難デアラウト考ヘテ居リマス、併シ努メテ此ノ兩者ノ適合ヲ圖ルト云フコトハ痛感致シテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ標準年伐量ハ中々動カナイノデアリマスカラ、有エル林樹ノ補植ヲ圖ル方法ヲ考ヘテ、負擔ノ過重ヲ輕減シテ行カナケレバナラスト考ヘテ居リマス、其ノ方法ト致シマシテハ造林ト云フコトガ最モ急ヲ要スルと思ヒマス、只今樺太デ森林ノ造成ヲ於キマシテ六十萬町歩、公私有林ガ十六萬町歩、合計七十六萬町歩ガ新ニ森林ノ造成ヲ要スルモノデアルト考ヘテ居リマス、其ノ中人工造林ヲ要スル面積ハ國有林ニ於キマシテ十六萬町歩内外デアリマシテ、ソレカラ公私有林等ガヤハリ十六萬町歩合計三十二萬町歩デアリマスガ、之ニ對シマシテ毎年國ニ於テ六千町歩、ソレカラ獎勵ニ依リマシテ同ジク六千町歩、合計一萬二千町歩ヲ新シク造成致シテ參リマス、又天然更新ノ約四十六萬町歩ノ國有林ニ對シマシテハ每

年一万三千町歩——十五年カラハ一万五千

町歩ニ致シタイト思ツテ居リマスガ、ソレノ天然更新ノ國有林ヲ撫育ヲ致シマシテ、極力森林ノ造成ヲ圖ルコトニ致シテ居リマス、何シロ大正九年以來造林事業ヲ始メタノデアリマスガ、一進一退デ其ノ間ニ山火事アリ、蟲害アリデ、山火事ダケデモ七十

万町歩ト云フ森林ヲ荒廢致シテ居リマスシ、大正二年カラ八年ニ互ツテ猖獗ヲ極メマシタ松毛蟲及ビ大正十五年カラ昭和七年

ニ互リマスル數年間ニ猛威ヲ逞シウシマシタ八齒穿孔蟲ト云フヤウナモノ爲ニ一億

町歩以上ノ原始林ガ蟲害ヲ被ツテ居リマス

ノデ、全ク先程御話ノ通りニ一面ニ丸坊主デアリマシテ、森林ノ樺太カ、樺太ノ森林カト言ハレタ所ヘ行ツテ見デ嘔然トシテ一

驚ヲ喫スルノデアリマスガ、目下ハ山火事ノ方面ニ對シテハ最善ヲ盡シテ其ノ豫防防遏ニ努メテ居リマス、蟲害ハ殆ド無クナリマシタ、ソレニ今申上ゲタヤウニ、年ニ二万

四千町歩ノ造林ヲ致シテ居リマスカラ、將來ハ樺太ノ森林モ鬱蒼トシテ立派ナ資源トナルノデハナイカ、斯様ニ期待ヲ致シテ居ル次第デアリマス、一應御諒承ヲ願ヒマス

○小山委員長 松浦君ニ御尋致シマスガアナタノ質疑ハ尙ホ相當ノ時間ヲ要シマス

カ

○松浦委員 アト二時間位掛リマス

○小山委員長 ソレデハ本日ノ質疑ハ此ノ程度ニ止メマシテ、次會ニ繼續致シタイト思ヒマス、尙ホ此ノ際資料ノ要求ガ川俣、菊地兩委員カラアリマスノデ、政府ニ要求致シマス

其ノ一ツハ、公有林及ビ官有地社寺有林ノ無立木地ニ於ケル入會權地面積及ビ其ノ割合

二ハ、製炭業者ニ對スル原木拂下價格、是ハ官有林ノ方デス

三ハ、民有林ノ製炭業者ニ對スル立木價格、最近年次平均

ソレカラ四ハ、部落有林ノ市町村未統一ノ面積

之ヲ御調査ノ上各委員ニ成タケ早ク配付セラレンコトヲ望ミマス、本日ハ此ノ程度ニ止メマシテ、次回ノ委員會ハ、明日午前十時ヨリ開會致スコトニ致シマス

午後零時十六分散會

昭和十四年二月十三日印刷

昭和十四年二月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局